

修復記録

著者	河口 公男
雑誌名	国立西洋美術館年報
巻	27-28
ページ	67-67
発行年	1996-03-30
URL	http://id.nii.ac.jp/1263/00000456/

修復記録 Restoration Activities

[1992(平成4)年度修復処置]

ヴィクトリア・デュブル(ファンタン=ラトゥール)
《花》

油彩、カンヴァス
42.7×47.8cm
P.1959-88

保存状態:
ニスの黄変

修復処置:
1.ニス除去
2.補彩
3.保護ニス塗布(ダマー5% in ターペンタイン)
4.額装改良

ダンテ・ガブリエル・ロセッティ
《愛の杯》

油彩、板
66×45.7cm
P.1984-5

保存状態:
1.素地の接合部分に割れ
2.絵の具層の剝落・欠損

修復処置:
1.絵の具層の固定(P.V.At含浸)
2.接合部分の強化・固定(P.V.At含浸)

シャルル・コッテ
《ムーランルージュの女たち》

油彩、カルトン
36.5×51×0.5cm
P.1959-40

保存状態:
1.カルトン素地の押しつぶれ
2.絵の具層の欠損
3.ニスの黄変

修復処置:
1.カルトン素地の押しつぶれの平面化
2.カルトン素地の部分的強化(ゼラチン2%含浸)
3.ニス除去
4.補彩
5.保護ニス塗布(ダマー10% in ホワイトスピリット)

シャルル・コッテ
《「小ミサ」のための習作》

油彩、板
26.1×41×0.5cm
P.1959-42

保存状態:
1.素地の反り
2.ニスの黄変
3.画面上に雨垂れのような汚れの付着
4.カビが発生したような斑点(黒衣の中、空の一部)
5.小欠損部数箇所

修復処置:
1.ニス除去
2.素地木口の強化(P.V.At含浸)
3.弱アルカリ洗浄
4.充填

5.補彩
6.保護ニス塗布(ダマー5% in ターペンタイン)

シャルル・コッテ
《入り陽の港》

油彩、カルトン
43.7×54×0.4cm
P.1959-47

保存状態:
1.過剰なニス
2.ニスの黄変
3.カルトン素地の四辺部に絵の具層の欠損
4.画面に汚損

修復処置:
1.ニス除去
2.弱アルカリ洗浄
3.充填
4.補彩
5.保護ニス塗布(ダマー5% in ターペンタイン)

エルネスト・クオスト
《鉢植》

油彩、板
40.9×28.9×0.5cm
P.1959-178

保存状態:
1.画面中央部に絵の具層の欠損
2.画面に汚損

修復処置:
1.弱アルカリ洗浄
2.充填
3.本地部分の目止め(P.V.At.3% 含浸)
4.補彩
5.保護ニス塗布(ダマー5% in ターペンタイン 艶あり)
6.額装改良

[1993(平成5)年度修復処置]

マルタン・アンリ=ジャン=ギョーム
《カオールの橋》

油彩、カンヴァス
85.7×64.5cm
P.1959-135

保存状態:
1.絵の具の欠損、浮き上がり
2.画面に汚損

修復処置:
1.浮き上がりの固定(ゼラチン3%)
2.画面のカンヴァス素地露出部分に目止め(ゼラチン2%)
3.弱アルカリ洗浄
4.充填
5.補彩
6.保護ニス塗布(ダマー3% in ターペンタイン、リグロイン)
7.額装改良

クロード・モネ
《雪のアルジャントゥーユ》

油彩、カンヴァス
55.5×65cm
P.1959-150

保存状態:
1.画面に汚損
修復処置:
1.弱アルカリ洗浄
2.額装改良

(河口公生/Kimio Kawaguchi)